

御

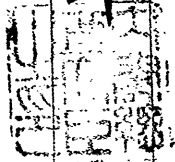
詔

一金融緊急措置令  
一日本銀行券預入令

右謹テ上奏シ恭シク  
聖裁ヲ仰キ併セテ樞密院ノ議ニ  
付セラレムコトヲ請フ

昭和二十一年二月十四日

内閣總理大臣男爵幣原喜重郎







ノ帳簿上ノ振替ノ方法ニ依ル封鎖預金等ノ支拂ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノヲ謂フ

第三條 第一條ノ規定ハ左ニ掲グル者ヲ金融機關ニ對シ有スル預金其ノ他ノ債權ニ付テハ之ヲ適用セズ

一 國又ハ都道府縣其ノ他地方公共團體

二 金融機關

封鎖預金等ノ支拂ハ命令ノ定ムル所ニ依リ現金ニ依ル支拂、現金以外ノ封鎖支拂ニ非ザル支拂又ハ封鎖支拂ニ依リ之ヲ爲スベシ

第四條 本令施行ノ際現ニ存スル國債、地方債、社債其ノ他命令ヲ以テ定ムル之ニ準ズル債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ハ封鎖支拂ニ依リ之ヲ爲スベシ本令施行ノ際現ニ存スル株式、出資其ノ他命令ヲ以

テ定ムル之ニ準ズルモノニ對スル配當金、殘餘財産ノ分配金及合併又ハ減資ニ因ル交付金ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ竝ニ本令施行ノ際現ニ存スル保險契約ニ基ク保險金ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノノ支拂ニ付亦同ジ

第五條 大藏大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ封鎖預金等ノ債權ヲ讓渡シ又ハ之ヲ債權ノ擔保ニ供スルコトヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第六條 大藏大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金融機關其ノ他大藏大臣ノ指定スル者ニ對シ資金ノ融通ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第七條 大藏大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ金錢債權ノ辨濟ニ關シ封鎖支拂其ノ他命令ヲ以テ定ムル現金支拂以外ノ方法ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

大蔵大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ資金ノ保有方法ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條 本令ニ於テ金融機關トハ郵便官署、銀行、信託會社、保險會社、無盡會社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、恩給金庫、庶民金庫、國民厚生金庫、地方農業會、漁業會及市街地信用組合其ノ他貯金ノ受入ヲ爲ス組合ヲ謂フ

第九條 封鎖預金等ニ付テハ其ノ債權者ハ第三條第二項ニ規定スル場合ヲ除クノ外支拂禁止ノ解除セラルルニ至ル迄ハ其ノ支拂ノ請求ヲ爲スノ權利ヲ有セザルモノトス  
支拂禁止ノ解除セラルルニ至ル迄ノ間ニ於テ封鎖預金等ニ附スベキ利息ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依ル

支拂禁止ノ解除前ニ於テ時効期間ノ滿了スル封鎖預金等ニ付テハ支拂禁止ノ期間ノ解除後一月以内ハ時効完成セズ

第十條 本令ハ他ノ法令ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ノ適用アル場合ニ於テモ仍之ヲ適用ス但シ他ノ法令ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ガ本令ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ヨリモ重キトキハ當該法令ヲ適用ス

第十一條 第一條、第三條第二項若ハ第四條ノ規定、第五條若ハ第六條ノ規定ニ依ル制限若ハ禁止又ハ第七條ノ規定ニ依ル命令ノ違反アリタル場合ニ於テハ其ノ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキ